

## 学習ノート「技術とものづくり」の活用例

1. 製作工程とその進捗や今までの学習の流れが生徒にも教師にも一目でわかります。
2. 学習の積み上げにより毎時間の学習のねらいがはっきりします。
3. 学んだ事を端的に表現する力がついていきます。

## 学習記録カードの活用例

### 学習記録カードを関心・意欲・態度の評価に役立てよう

『 』の製作』学習記録カード						
年 組 番 氏名						
製作の目標・ねがい						
月日	学習問題・内容	困ったこと・悩んだこと	解決のようす・結果・わかったこと・できたこと	発言	準備片付	意欲
		うれしかったこと		回数		
	金属の性質を調べる	友達が、材料と金床を支えてくれた。	金属には、色々な性質があって硬くても折れてしまったり、伸びて薄く広がったりと形を変えられて面白かったです。	3	A	B

毎時間の学習活動終了後に記入評価します。

#### <時間を決めて記入しよう>

- ・ 記入時間を決めましょう。これによって集中して書く力が身につきます。
- ・ 5分程度から始めてみましょう。

#### <学びの「よさ」を記入しよう>

- ・ 友達と関わり協力して作業を進める場合、友達との関りの「よさ」を記入してみましょう。この例では『うれしかったこと』としています。
- ・ %で評価し、楽しめた(怠けた)自分の内容を書いてもらうことも自分を振り返る点では優れています。

#### <評価を明確に、継続する>

● 3つの空欄を生かしましょう。

- ・ 予め『評価基準』を設け、生徒へ理解を図ることが大切です。
- ・ 毎時間点検をして生徒の「関心・意欲」や「つまづき」を確認しながら、生徒とのコミュニケーションを図ることが肝要です。

#### 関心意欲態度の評価基準の例

- A**… 自分から進んでできた。自分なりの考えをもてた。友達に教えられる。
- B**… 友達に任せた。嫌だけどやった。アドバイスをもらってできた。手を貸してもらってできた。
- C**… やらなかった。できなかった。